



記者発表資料
 令和4年7月1日
 自然保護課野生生物保護班
 担当 仁木・高橋
 電話 022-211-2673
 sizent@pref.miyagi.lg.jp

野生鳥獣の肉における放射性物質の測定結果について
 (令和4年度第2報)

大河原町、川崎町及び大和町で採取されたイノシシの肉、気仙沼市、登米市及び女川町で採取されたニホンジカの肉について、放射能物質の測定を行ったところ国の基準値（100ベクレル/kg）を超えるものではありませんでした。

なお、ツキノワグマ肉及びイノシシ肉については、平成24年6月25日付けで、県内全域を対象に国から出荷制限指示が出されており、現在も継続しております。

また、ニホンジカ肉については、平成29年12月13日付けで県内全域を対象に国から出荷制限指示が出されており、現在も継続していますが、県の管理下において全頭検査を行い、放射性セシウムの検査結果が国の基準値を超えないものに限って出荷制限が一部解除されております。

記

1 測定結果

(単位：ベクレル/kg)

鳥獣名	捕獲場所 (鳥獣保護区等位置図 表記地区)	放射性セシウム		捕獲 年月日	測定日
		測定値	食品衛生法の規定に基づく放射性物質の基準値		
イノシシ	大河原町 鷺沼入	14.7	100	R4.6.13	R4.6.24
	川崎町 前川大森	不検出		R4.5.24	
	川崎町 小野	不検出		R4.5.25	
	大和町 吉田若畑	21.1			
ニホンジカ	気仙沼市 本吉町猿内	21.2		R4.6.12	
	気仙沼市 本吉町	15.8		R4.6.14	
	登米市 登米町針田	16.8		R4.5.23	
	女川町 飯子浜	13.1		R4.5.29	

※ 次のURLから、野生鳥獣肉に係るこれまでの検査結果が確認できます。
<https://www.r-info-miyagi.jp/r-info/archive/> (みやぎ原子力情報ステーション)

- 2 測定年月日 令和4年6月24日
- 3 検査機関及び検査機器 株式会社 理研分析センター
ゲルマニウム半導体検出器
- 4 検出下限値 8.23 ~ 9.87 ベクレル/kg

(参考)

- (1) 不検出
放射能物質の濃度が、検出下限値に満たないことを指します。
- (2) 検出下限値
当該測定機器で検出できる放射性物質濃度の最小の値を示し、測定ごとに異なります。
なお、測定値及び検出下限値は、セシウム134及びセシウム137それぞれの値を合算した値であり、測定の結果によりセシウム134又はセシウム137のどちらかが不検出の場合などでは、測定値が検出下限値を下回ることがあります。